

誰一人取り残さない社会へ



4議会連続で登壇

「子どもに優しい社会を」
岩切たつや
 県議会 便り

2021年は、2月議会から11月議会まで4回、連続して質問に登壇する機会をいただきました。県議会では、各議員が、一般質問を各年度毎に2回行うことができる取り決めになっています。

2021年2月は、2020年度の2回目の一般質問で、6月と11月は、2021年度の一般質問。そして、9月は会派を代表する代表質問として登壇しました。

また、秋には衆議院議員選挙、県議会議員補欠選挙があり、大変忙しく、充実した1年となりました。こうして元気に活動できるのも、皆様のご支援のおかげです。



今年も頑張ります!

2022年1月
 発行
 県議 岩切たつや
 住所 880-0942
 宮崎市生目台東
 1丁目6-8
 電話0985-89-5158
 fax 0985-86-8778



ますので、遅れることなく、十分な体制整備を進めていくよう強く要望しました。

子どもの福祉にこだわっていく

私の質問は、福祉の課題、特に子どもの福祉や教育に偏ります。2月議会では発達障害児教育や配偶者暴力相談支援センターの問題、6月ではやはり児童虐待問題と、障害者への合理的配慮の課題、9月で高校中退した子どものこと、成人年齢引き下げやいじめの問題などを質問し、12月では児童虐待、放課後児童クラブなどをとりあげ、福祉保健部長や教育長に何度も答弁をいただきました。



県全体の政策方針として確立してほしい課題には、知事にも答弁を求めていくなど、子どもの福祉や教育の充実にこだわって議会活動してきました。2022年も『子どもに優しい社会を』めざして活動していきます。

20万5,044件の悲しみ
 昨年度の全国の児童相談所が対応した虐待相談件数は20万を超え、過去最高となりました。宮崎県の3つの児童相談所での対応件数は1,883件で、その前の年に比べ70件少ないものの、過去2番目の多さでした。県は「外出自粛などで、家庭内の問題が外から気づかれにくい状況になった。虐待は減少していない。引き続きの対応強化に取り組む」と私の質問に答えました。児童虐待は「高止まり」した状況です。1件1件に子どもの悲しみ、苦しみがあります。国は児童相談所の体制強化プランを発表してい

キーワード ワクチン・検査パッケージ制度

11月議会には、国の交付金決定や補正予算編成に呼応し、議会冒頭に約53億円の補正予算案と、議会途中に約20億円の補正予算案が提出されました。立て続けに補正予算が組まれるのは、コロナ対策のためですが、今年度すでに17回目。当初予算に612億円を積み増して、6867億円になっています。

コロナ感染予防や、感染者に対する治療という直接的な取組と、コロナ禍で疲弊した県内経済に対する対策との両面で、様々な事業が取り組まれています。今回提案された事業は、予算額19億円の新型コロナウイルス検査促進事業で、『ワクチン・検査パッケージ』という制度を利用促進する等のために必要な事業です。この言葉は、これからよく聞く言葉になると思われ

ますので、遅れることなく、十分な体制整備を進めていくよう強く要望しました。私の質問は、福祉の課題、特に子どもの福祉や教育に偏ります。2月議会では発達障害児教育や配偶者暴力相談支援センターの問題、6月ではやはり児童虐待問題と、障害者への合理的配慮の課題、9月で高校中退した子どものこと、成人年齢引き下げやいじめの問題などを質問し、12月では児童虐待、放課後児童クラブなどをとりあげ、福祉保健部長や教育長に何度も答弁をいただきました。

立憲民主党県議会議員

岩切たつやプロフィール

1979年県庁入庁し、児童相談所、福祉事務所等に勤務。その間、労組委員長、PTA会長など労働運動、地域活動に取り組む。2015年県議選に初挑戦、現在二期目。環境農林水産常任委員会委員長
 立憲民主党宮崎政策調査会長 61歳
 社会福祉士、宮崎県登録養育士



昨年秋の選挙では、政治を変える意気込みで頑張りました。引き続き、働く者もらに、幸福な未来があるように祈ると同時に、行動していきます。様々な課題を取り上げて、県民福祉の向上に寄与できるように頑張っていきます。皆さまの、県政に対するご意見、ご要望をお聞かせください。

「ワクチン・検査パッケージ」とは、①「飲食店やイベント(旅行含む)の主催者」が②「入店者・入場者等」の利用者のワクチン接種歴又は検査結果の陰性のいづれかを確認すること③「まん延防止等重点措置や緊急事態宣言の発出時のような流行期にも、利用人数や行動の制限を緩和して、お店やイベント(旅行なども含めて)を利用いただけるように」するものです。そのため、県内に検査センターを増設して、健康上の理由などでワクチン接種できない方や、感染拡大期に知事が県民に要請した場合などに、希望する県民が無料でPCR検査を受けられるようにする予算となっています。感染流行時でも自粛一辺倒ではなく、日常生活を継続できるよう工夫されたものとのことです。

虐待X、DVもX。みんなの人権が守られるように 安全で平和な社会づくりを

私の質問・答弁の一部をご紹介します。

☆質問☆ (児童虐待対応)

昨年度の相談件数を伺いたい。

☆答弁☆ (福祉保健部長)

1883件。前年度は1953件であり、件数で70件、3.6%減であるが過去2番目に多い状況。

☆質問☆ (児童虐待対応)

この数字の背景をどう考えるか。

☆答弁☆ (福祉保健部長)

学校や、近隣、家族など身近な存在からの通告が減少している。一斉休校や外出自粛など、家庭と地域のつながりが希薄化し、家庭内の問題が気づかれにくい状況が生じたのでは。顕在化したものを

含め、減少していないと考える。引き続き関係機関と連携し、対応の充実・強化に取り組む。

☆質問☆ (児童虐待対応)

6月質問で児相の体制強化を求め、知事もしっかり取り組むことを答弁した。虐待は高止まりしており、引き続き取り組んでほしい。

☆答弁☆ (福祉保健部長)

人口四万人に一人から三万人に一人と児童福祉司の配置基準が変わる。里親支援、市町村の相談対応強化の支援職員も必要。必要な体制強化に取り組んでいきたい。

☆私の思い☆

社会のストレスは弱い方へ、弱い方へと向けられていきます。DVも然り。現場職員は疲弊しながら

も、いのちを守るため、子どもの安全のために、日夜努力しています。予算をかけてほしい。しっかりとした体制で、大事な宮崎の子どもたちを守ってほしいと願います。

☆質問☆ (教育現場のジエンダー)

学校における混合名簿利用が浸透しているが、その意義が定着することが大事では。

☆答弁☆ (教育長)

性で分けない名簿の活用は、男女平等の意識、性的マイノリティ児童生徒への配慮を行う手立ての一つである。現在、小中学校で九割以上、高校で100%となっている。

☆質問☆ (教育現場のジエンダー)

スラックスを標準服として、スカートを選択できるという学校も出ている。制服の選択制導入の状況とその意義は。

☆答弁☆ (教育長)

小中学校で十七校、高校で七校が導入。各地で制服のあり方が検討されている。より多様性に配慮できる点から意義があることだ。

性別に関わりなく個性が尊重される教育に取り組んでいく。

☆私の思い☆

画一的でない、個性が尊重される教育になっていきます。大事なことは『人権尊重』を基盤とした男女平等の意識を確立する教育の充実です。何かにつけ男子が先とかの刷り込みがあった時代から、社会が変わる必要があります。

☆質問☆ (自転車の交通安全)

自転車の交通事故を心配している。青い色の通行帯がある道路が増えた。基本として自転車の左側通行の徹底が必要では。

☆答弁☆ (警察本部長)

安全ルールが徹底される必要があることから、安全教室の開催や、指導を行っている。取締りも含め安全利用を総合的に推進したい。

☆質問☆ (生活道路への進入)

朝夕のラッシュを避けるため、狭い生活道路を通過する車両に悩まされ、池内町では「侵入しないで」と立て看板がある。何か有効な方策を考えてほしい。

☆答弁☆ (警察本部長)

ゾーン30の規制エリアの整備や、道路に物理的な工夫をするなど関係機関と連携を強めたい。地域住民との合意形成をはかりながら必要な対策を講じていきたい。

☆質問☆ (学校の危機管理)

学校にはより高いレベルの危機管理マニュアル作成が求められている。今後は「想定外」と言う弁解を許さないレベル。対応は。

☆答弁☆ (教育長)

発災時、子どもを保護者に引き渡す方法や、感染症への対応など毎年改善が求められている。ガイドラインのチェックリストを参考にさらに見直していくよう指導している。研修も強化していく。

☆私の思い☆

社会の安全安心を守り、非常時にしっかり対応するため必要な、準備にかける時間と予算

◆10月19日～31日衆議院選挙 立憲民主党から渡辺創さんを国会に送り出すことができました。◆11月5日～14日県議会宮崎市区選出議員補欠選挙 山内かなこさんを県議として迎えることができました。◆11月21日 私の息子の一人が結婚式を挙げました。◆11月25日～12月13日定例会 令和3年度一般会計補正予算案2本、条例改正6本、条例以外の議案9本などを審議しました。*紙面ですべてをお伝えすることが難しいことから、詳しくは県広報や宮崎県庁ホームページをご覧ください。

〈さまざまなスナップ〉



↑当確! 精一杯、頑張りました



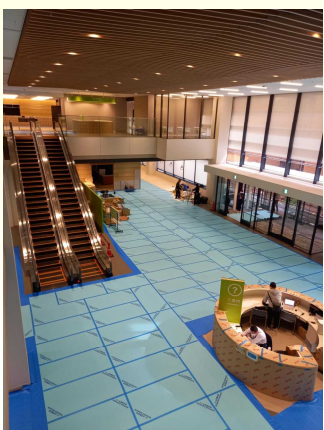
県議会議員補欠選挙で山内かなこさんが勝利。会派の皆さんと一緒に



森林づくり県民ボランティアのつどい。いい天気です



移転前の県立宮崎病院を視察



☆質問☆ (ふるさと納税)

と人手を大事にしてほしいものです。

☆質問☆ (ふるさと納税)

秋の選挙は低投票率に終わつた。受け止めと対策は。また、県議の補欠選挙の要件に課題があると思うが、所見を。

☆答弁☆ (総務部長)

県と市町村全体で365億円受け入れた。県内から他県域に寄付された額は、把握が困難である。

☆質問☆ (ふるさと納税)

良い返礼品が誘因になっていく。品質維持がその後の県産品の売り込みに大事なことでないか。知事の所見はいかが?

☆答弁☆ (知事)

返礼品は県産品の認知度向上につながるが、その品質は重要。評価を損なうことがないように事業者や市町村にも要請していく。



補欠選挙は、定数2以上の選挙区では欠員が2以上になることが要件。地域の声の代表に欠員があることは課題だ。法律に定められたことなので、国会等での議論を注視して参りたい。